

大仙市屋内遊び場施設整備事業に関する サウンディング型市場調査の結果等について

令和6年8月19日
こども未来部こども政策課

1 要旨・目的

大仙市屋内遊び場施設整備事業を行うにあたり、民間活力を導入した事業手法を採用する予定としており、民間事業者の皆様と意見交換を行うことで、実現性のある公募条件等を検討するため、サウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

2 実施期間

令和6年7月9日（火）～7月11日（木）、7月16日（火）～7月18日（木）

3 参加事業者数

3社

4 事業者からの主な意見

事業手法

- ・補助金を活用する場合は DB0 方式が最も望ましい。
- ・0 の契約形態について、貸館業務や追加業務を見込むと、業務委託より指定管理の方が柔軟に対応できるため好ましい。

事業期間

- ・運営期間は 15 年が最も望ましい。
- ・DB について、事業者決定から実施設計まで1年、建設期間に1年と考えるが、積雪や ZEB 化への適合を鑑み長めに見積もって3年程度。

施設整備後の運営方針案

- ・隣接する芝生を含めて提案可能だとすれば、施設と芝生が一体的なイベント等を提案でき、それに合わせた設計とすることができる。
- ・自主事業として、大人向けも含め様々なイベント等の実績がある。
- ・大きなマーケットである秋田市と隣接しており、可能性を感じる。

その他

- ・駐車場が不足すると考える。
- ・設計・建設・維持管理業務を地元企業に依頼するか、各社意見が異なる。